

平成30年第9回宝達志水町教育委員会会議録要旨

開会日時 平30年9月3日(月)
会議場所 宝達志水町生涯学習センター 2階 第一会議室
出席委員 山岸教育長、米澤委員、市村委員、松田委員、大崎委員
欠席委員 なし
説明員 岡田学校教育課長、宮城学校教育担当課長、定免生涯学習課長、村井埋蔵文化財センター室長

開 会 午前10時00分

1 教育長事務報告

会議資料1ページにより要点報告を行った。

2 付議議案

議案第13号 宝達志水町教育委員会点検及び評価について

岡田学校教育課長、定免生涯学習課長、村井文化財室長が資料に基づき説明し、原案のとおり承認された。

3 報告事項

第70回石川県民体育大会総合成績について

岡田学校教育課長が資料に基づき説明した。

4 その他

(1) 宝達山クリーン登山について

定免生涯学習課長が資料に基づき説明した。

(2) 宝浪漫マラソン2018について

定免生涯学習課長が資料に基づき説明した。

(3) 宝達山ヒルクライム2018について

定免生涯学習課長が資料に基づき説明した。

(委員の意見等)

質問	米澤委員（教育委員会点検及び評価について） ○平成28年度に策定した町子ども読書活動推進計画の普及を推進していると聞くが、小学校への移動図書館車の巡回サービスが昨年度より減っているのはなぜか。
回答	定免生涯学習課長 ○巡回サービスの回数は変更していないが、学校行事等により減ったものである。なお、図書館の利用者は昨年比去年に比べて増加傾向となっている。要因については、65歳以上の方の利用者が増えたことによるものである。児童においては、読書離れや児童数減により貸出冊数は減っているため、子どもの読書環境の整備に努めたい。
質問	松田委員 ○学校給食の地産地消が40%の達成率とあるが、地産地消とはどの範囲における割合のことか。
回答	岡田学校教育課長 ○地産地消は一般的に県内産の割合である。
質問	大崎委員 ○学校組織の機能化で、3年間に渡り「学びの組織的実践推進事業」の取り組みを行い、国及び県の学力調査において、素晴らしい成果につながっている。今後はその成果を活かして今年度、来年度に向けて発展させる方策を考えているのか。また、学びの組織的実践推進事業の指定が終了しても、学びの連絡協議会は次年度も実施していくとよいとあるが、今年度も実践されているのか。
回答	宮城学校教育担当課長 ○3年間の推進事業を終えて、事業費は受けていないが、今年度も学びの連絡協議会を月1回のペースで行い、各学校の取り組みについて情報交換会を継続している。
回答	山岸教育長 ○各学校の工夫された取り組みを持ち寄ることでレベルアップを図ることができるため、今後も継続する予定である。

質問	松田委員 ○岡部家の入場者に対して、料金収入にばらつきがあるが原因はなにか。
回答	村井文化財室長 ○入場料は一般一人につき500円、20人以上の団体400円で、小中学生一人につき200円、20人以上の団体100円となっている。ばらつきの原因については、町内小中学生の見学や文化協会の事業などは減免規定に基づき減額または免除しているためである。
意見	米澤委員（その他について） ○9、10月は宝達山を活用したイベントが目白押しであり、成功を願っているため、準備を万全にして臨んでいただきたい。
質問	大崎委員 ○宝浪漫マラソンのボランティアが不足している係はあるのか。
回答	定免生涯学習課長 ○ボランティアは約600人の応募がある。係によっては手薄になるところもあると聞くが、大会を開催する上で問題はないと考えている。
質問	大崎委員 ○大型の台風21号が近づいているが、対応はどうするのか。
回答	宮城学校教育担当課長 ○他市町の対応も踏まえて、早期に決定したい。
質問	米澤委員 ○2学期が始まり、夏休みの宿題が多いのではないかという意見を聞いたが、妥当であるのか。
回答	宮城学校教育担当課長 ○夏休みの宿題には、夏休み用の問題集、自由研究、工作などがある。また、郵便局等による各種応募作品もあるが選択制となっているケースが多い。なお、自由研究、工作及び読書感想文は基本となっているが自由研究または読書感想文の何れかを提出させる学校もある。宿題の量については、親御さんの捉え方もあると思うが、各学校だいたい足並みを揃えている。

以上

閉 会 午前11時00分